

番号

## 活動報告書

市町村（学校組合）名 学校法人名等	日高村
担当課・担当者職氏名	教育委員会・主事 味元夏海

テーマ	身近な山に親しもう		
学校名（学年）	日高村立能津小学校（1～6年）	対象児童・生徒数	19人
概要及び実施内容	<p>1 目標</p> <p>遊びや工作活動、調べ学習等を通して山の自然にふれ合ったり、山の仕事について学び、その仕事の大切さに気づいたりすることで、子どもたちの森林環境に関する理解を深める。</p> <p>2 活動内容</p> <p>別添活動報告書を参照してください。</p>		
成果	<p>◎子どもたちは、山の自然にふれ、たくさんの活動を通して、山の魅力に気づくことができました。</p> <p>◎山間部に住む能津小の子どもたちにとって、『山について学ぶ』ことは、自分の故郷を愛することであると同時に、山の災害から命を守ることにもつながっていく。山の学習が基礎の部分となって、5・6年生の土砂災害学習に繋がっている。</p>		

（注）

- 1 子どもたちの振り返り、授業で用いた資料、子どもたちの活動の様子を写真等で編集したもの等、活動日の取組状況及び参加者の様子が分かるものを学校単位（各計画毎）で併せて提出してください（様式任意）。印刷したものを添付のうえ、できるだけデジタルデータをメールにて提出してください。
- 2 活動報告書の内容および写真は、ホームページ、パンフレット等で公開する場合がありますので、写真等も含め、該当者への同意を得て作成してください。
- 3 事業を通じて得られた成果（児童・生徒の気づき、変化等）を簡潔に記載してください。

## 令和2年度 山の学習支援事業補助金 活動報告書

学校名	日高村立能津小学校
-----	-----------

### 【始めに】

新型コロナウイルスの感染拡大による臨時休校などの影響で、1学期に予定していた錦山公園での樹木の名前付けや山に親しむ活動は実施することができなかった。また、授業との兼ね合いで、今年度は時期や内容の予定を変更しての活動となってしまったことを、始めにお詫びしておきたい。

活動内容1	樹木の名前つけ
実施日時	令和2年10月26日～11月10日
対象学年・人数	3・4年生、6人
実施場所	能津小学校運動場周辺及び裏山
講師	野村 守佑 氏



毎年お願いしている、野村守佑氏に講師として来校いただき、校庭の樹木の名前を教えてもらった。野村氏は、名前だけでなく、いつ頃花が咲くかということや、錦山にしか自生していない樹木（ニシキミツバツツジやドウダンツツジ等）が校庭にあることも教えてくれ、子ども達は驚いていた。



その後、学んだことを元に、更に図鑑などで調べて、校庭の樹木に名前をつけた。以前は、名前や調べたことを紙に書いて、それをラミネートし、樹木につり下げていたが、吊り下げ用の穴から雨が入り、中の紙が濡れてしまうなどして劣化が進んでいた。そこで、名札の改良版として、下敷きに直接名前を書いて名札とするようにしたが、う

まくいかなかった。結局、紙に書いたものをラミネートし、それを下敷きに貼り付けて名札とする方法に落ち着いた。

### 子どもの日記より

- ・5・6時間目に、野村さんに木の名前を教えてくださいました。私は、木の名前はあまり知らない



ので、楽しみにしていました。

私が教えてもらった中で一番好きになった木は、「トキワサンザシ」といって、バラ科です。小さくて、すっぱくて、トマトみたいでした。太陽にあたっているところはオレンジ色で、太陽の当たっていないところは赤色でした。他にも、めずらしい木があって、名前は「アカギ」といいます。いろいろな木があってわくわくしました。

図鑑でも早く調べたいと思いました。

活動内容2	山道散策及び制作活動
実施日時	令和2年11月18日～25日
対象学年・人数	1・2年、7人
実施場所	鴨地地区の山、教室
講師	田中 登茂久 氏（地域学習ボランティア）



山にある素材を使って制作活動をするために、校区の山道を歩いた。地域に住んでいる方が道案内をしてくださり、落ち葉の上を歩いてその感触や音を楽しんだり、途中で栗を拾ったりして、山歩きを楽しんだ。また、道々、様々な形の木の実や木の葉、枝なども拾い、その後の制作活動につなげることができた。



#### 子どもの日記より

・長畑の山に、ともひささんと1・2年生で山登りに行きました。

みそにたまったおちばのおふろにはいりました。はっぱがちくちくしたけど、は入れてうれしかったです。

ともひささんが、「これはたべられないぶどうだよ。」と言ったので、びっくりしました。すくなくがいしだを見つけられてうれしかったです。

・ぼくが1ねんかんでいちばんたのしかったことは、1・2ねんせいともひささんと山のぼりにいったことです。

さいしょ、あるいていると、ピンクいろの花びらがひらひらとおちてきました。森のようなみちをいきました。いろいろなところにいのししの足

あとがありました。はじめていのししの足あとを見たので、うれしかったです。

とちゅうであきのはっぱがたくさんおちていたので、みんなではっぱのプールをつくりました。

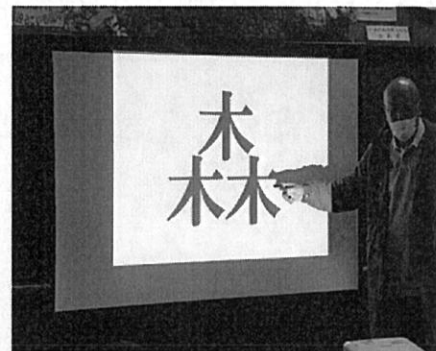
また、ともひささんと山のぼりにいきたいです。

活動内容3	山の仕事と環境学習
実施日時	令和3年2月2日 1・2時間目
対象学年・人数	3～6年、11人
実施場所	能津小学校多目的室
講師	四宮 成晴 氏（土佐の森 救援隊）

今年度も、土佐の森救援隊の四宮成晴氏を講師にお招きし、「山の仕事と環境問題」についてお話をして頂いた。

日本の領土の65%を占める森林、その半分以上が人工林であるという現状、人が作り上げた人工林は、人が世話をしないといけないが、最近は林業に携わる人が減り、世話が行き届かなくなっていること、すると山が荒れ、土砂崩れなどの災害が起こりやすくなるということを、わかりやすく教えてもらった。

子ども達の身近には人工林があることから、間伐体験などの大切さをひしひしと感じたようだった。



活動内容4	制作活動
実施日時	令和3年2月2日 5・6時間目
対象学年・人数	3～6年、11人
実施場所	能津小学校多目的室
講師	田鍋俊六氏（土佐の森 救援隊）

昨年度に引き続き、田鍋俊六氏に講師をお願いし、木の枝などを使った木工作品作りをした。

普段は安全の面から学校の授業では使わせないような工具も、たくさんの「プロの目」があるため使わせることができるのは、教員にとっても大変ありがたいことである。子ども達は、作りたいものに合わせて工具を選び、その使い方を学びながら、思い思いの作品作りを楽しんでいた。



活動内容5	間伐体験
実施日時	令和3年2月5日 3・4時間目
対象学年・人数	3～6年、11人
実施場所	能津小学校の裏山
講師	片岡正法氏、松本弘昭氏（土佐の森 救援隊）

当初の計画では、2月2日を「山の学習の日」と位置づけ、座学、間伐体験、木工作品作りを一日で実施する予定だったが、悪天候のため、間伐体験については日を変えて実施することにした。

今年度も、片岡氏、松本氏が技術指導及び講師となり活動をすすめてくれた。

当日は、高知新聞社の楠瀬記者が取材に来てくれ、活動の様子は2月6日の高知新聞に掲載された。また、その活動について高知新聞 NIE 読もっかに投稿した児童の記事も2月25日に掲載された。



子どもの日記より

・今日、森の学習で、かんばつ体験をしました。私は、かんばつ体験が初めてで、やったことがないからこわかったです。

まずは、木の三分の一を直線に切りました。ノコギリを押したり引いたりするのに力がかって大変でした。次に、上からななめに切りました。この作業も大変でした。そんなことをして、やっと木がたおれました。先生から、「木を切ったから、少し森が元気になったね。」と言われました。

私は、少しだけ森を元気にするお手伝いのできたのでよかったです。

活動内容6	甫喜ヶ峰森林公園での活動
実施日時	令和3年3月5日（金）
対象学年・人数	全校児童 19人
実施場所	甫喜ヶ峰森林公園
講師	森林公園の皆さん

毎年、3月のこの時期に6年生とのお別れ遠足を実施している。今年度は、昨年3月に新型コロナウイルスの感染拡大のため行けなかった『甫喜ヶ峰森林公園』に行った。当日は前日からの雨が残り、山での活動を実施するか迷ったが、雨合羽を着用して山での活動『オリエンテーリング』を実施した。

コンパスと地図を頼りに山道にある記号を探して歩くという体験は初めてだったため、子ども達には少し難しかったようだが、それでも各班が話し合って方向を決めたり、励ましあって歩いたりする姿が見られた。

晴れた日には、太平洋まで見えるとの話も聞いた。天気良ければ、様々な植物をながめたり、鳥のさえずりを聞いたりしながら活動できただろうと思うと少し残念だった。（来年度か再来年度にはリベンジできますように。）



#### 子どもの日記より

・（前略）次に、ほきがみね森林公園に行きました。ひらがなで「う」や「あ」などがかかっている地図をわたされて、各班でその文字を探しながら歩きました。見つけたら、ペンで○をしました。雨の中、山を登りました。私は、「おなかすいたー。」と言いました。私の班が一番最後だったけど、6年生と楽しい思う出が作れたのでよかったです。

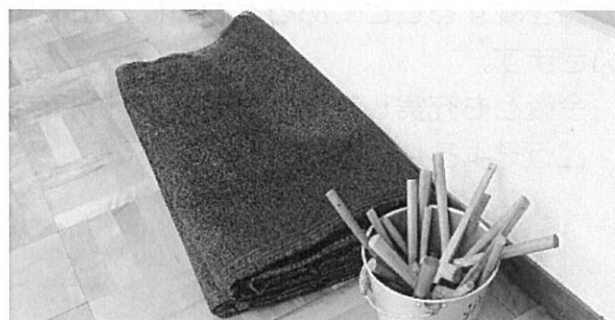
・（前略）次に、ほきがみね森林公園に行きました。班で分かれて、方位じしいんを使って、道にまよわないように歩きました。歩いていくほどおなかすいて大変でした。なので、その後のお弁当やお菓子がおいしかったです。

活動内容7	しいたけの菌打ち体験
実施日時	令和3年3月12日
対象学年・人数	全学年、19名
実施場所	能津小学校 裏庭
講師	—

始めの予定では、2月に実施する予定であったが、3月1日から転入生を迎えることになったので、予定を変更して3月になってから実施することにした。

学校行事や天候の変化により、実施はぎりぎりになってしまったが、転入生（1年生と4年生）は、大いに喜び、活動を満喫していた。また、ほかの1年生も初めての体験だったため、楽しんで活動ができていた。不慣れな1年生のそばで、菌の打ち方を教える上級生の姿も見られ、ほほえましかった。

補助金で購入させていただいた遮光ネットは、原木を日光から守るために使わせていただきます。ありがとうございました。



活動内容8	間伐体験の調べ学習、活動のまとめ
実施日時	令和3年2月～3月12日
対象学年・人数	5年生 2人
実施場所	能津小学校各教室、多目的室他
講師	—



5年社会の学習と合わせて、間伐体験についての調べ学習をし、間伐体験から学んだことも含めて、模造紙にまとめた。集会での発表は、3月22日に予定している。



### 【最後に】

今年度も、おかげさまでたくさんの山の学習に関する活動ができました。山間部に住む能津小の子ども達にとって、『山について学ぶ』ことは、自分の故郷を愛することであると同時に、山の災害から命を守ることにもつながっていきます。

今後とも充実した活動や学びが継続できますよう、お力をお貸しください。どうぞよろしく願いいたします。